みずほマーケット・トピック(2024年7月17日)

進むインフレ税による財政再建~資金循環統計~

6 月末に発表された 1~3 月期資金循環統計では家計部門の外貨性資産比率が注目されたが、政府部門でも注目される動きが見られた。かねて本欄では政府が望む、望まないにかかわらずインフレ税によって財政再建を進める状況に突入しているのではないかという可能性を議論してきた。今回の資金循環統計はこの論点への確信を強める内容。一般政府債務の名目GDP 比は総債務(グロスベース)で 241.3%と前期の 241.5%から低下し、純債務(ネットベース)も 94.7%とやはり前期の 102.8%から低下している。純債務の 100%割れは 2010 年 4~6 月期以来、実に 14 年ぶり。インフレが定着する中、家計から企業へ、企業から政府へと所得移転が進む様子が透ける。政府の意図はともかく、客観的に見て日本がインフレ税導入を通じた財政再建に進み始めたという状況証拠は否定しがたい状況と言える。現状、「日本におけるインフレ税」が金融市場で明確なテーマ性を帯びているわけではないが、一部取り上げる報道もあり、徐々に認知が進んでいる印象もある。引き続き想定外の円安リスクとして注目したい論点。

~顕著に進む財政再建~

6月末に発表された1~3月期資金循環統計では家計金融資産の外貨性資産比率が過去最高を更新したことなどを取り上げたが、家計部門以外に政府部門でも注目される動きが見られた。かねて本欄では政府が望む、望まないにかかわらずインフレ税によって財政再建を進める状況に突入しているのではないかという可能性を議論してきた¹。今回の資金循環統計はこの論点への確信を強める内容でもあった。一般政府債務の名目 GDP 比は総債務 (グロスベース)で



241.3%と前期の 241.5%から低下し、純債務(ネットベース)も 94.7%とやはり前期の 102.8%から低下している。 純債務の 100%割れは 2010 年 4~6 月期以来、実に14 年ぶりの動きだ。 名目 GDP と共に総債務も増えているため総債務の改善はほぼ横ばいに留まっているが、総資産が総債務以上のペースで増加しているため純債務の減少が顕著になっている。

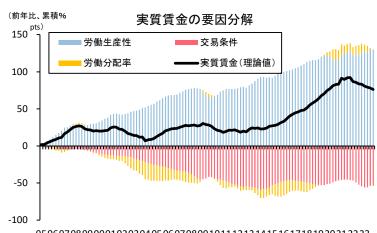
例えば一般政府の総資産の構成項目について前期比の動きを見ると、対外証券投資が+22.7 兆円、株式等投資信託受益証券が+11.9 兆円、現預金が+3.3 兆円増加していることなどが目立っている。対外証券投資は言うまでもなく、株式等投資信託受益証券に関しても、資産価格自体が

¹ 本欄 2024 年 5 月 9 日号「遂にインフレ税が始まったのか?~円安と債務~」をご参照下さい。

上がっていることに加え円安による為替差益が乗っているという側面が小さくないだろう。現預金の増加をさらに詳しく見ると、流動性預金や外貨預金などが増えている。後者の増加が円安の影響であることは論を待たない。前者の増加はインフレが定着する中、家計から企業へ、企業から政府へと所得移転が進む様子が透ける。

~インフレ税の争点化という円安リスク~

前頁図を一瞥して分かる通り、過去四半世紀において、<u>わずか 1~2 年の間に日本の政府財政がこれほど顕著に改善したことはない</u>。過去の本欄でも述べた通り、政府債務残高を圧縮(財政再建)する手法は①歳出を減らす、②歳入を増やす、③インフレを進める(or インフレが進む)があり、いずれの選択肢も相互排他的ではない。長年、日本は①や②に消極的な姿勢を続け、経済・金融情勢を刺激する方法としてはほぼ例外なく円安を選んで

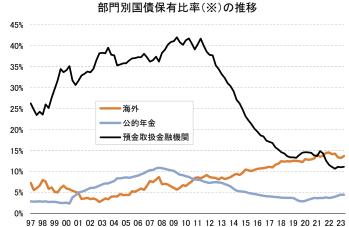


9596979899000102030405060708091011121314151617181920212223 (資料)内閣府「国民経済計算」、厚生労働省「毎月勤労統計」

きた(少なくとも円高は全力で阻止してきた)。結果、交易条件の悪化を通じて海外への所得流出が続き、これが実質賃金を押し下げてきた(図)。当然、実体経済の回復は遅滞し、財政再建も進むはずがなかった。政府の意図はともかく、客観的に見て日本がインフレ税導入を通じた財政再建に進み始めたという状況証拠は否定しがたい状況にある。

現状、「日本におけるインフレ税」が金融市場で明確なテーマ性を帯びているわけではない。しかし、一部報道²では取り上げられており、徐々に認知が進んでいる印象もある。外形的な事実として円買い為替介入や日銀の引き締め措置など、政府・日銀として通貨安やインフレに対抗するような措置が取られている以上、「意図的にインフレ税を創り出そうとしている」という主張は邪推の域を

出ない。しかし、今後、<u>直情的な為替市場が為替介入や利上げを期待するような状況が到来し、それが思惑通りに行われなかった場合、癇癪を起した為替市場を中心として「日本におけるインフレ税」が争点化する展開は十分考えられる</u>。そうなった時、日銀会合が近づくたびに利上げの催促が行われ、期待に応えれば「日米金利差はまだ大きい」などと不足を指摘されて円売り、現状維持ならば「やはりインフレ税を狙っている」と指摘されて円売りといった



97 98 99 00 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 (資料)日本銀行、※短期国債含むベース

2024年7月17日 2

² 日本経済新聞「「インフレ税」シナリオの現実味 円安が試す利上げ耐性」2024年6月30日付

四面楚歌の状況に陥る可能性がある。繰り返しになるが、<u>政府・日銀の意図は別にして、事実とし</u>て起きていることがその通りなのが痛いところだ。

これまで、円金利の安定は日本国債が内国債であるという事実が免罪符のように使われてきた。 しかし、前頁図に示されるように、海外部門による国債保有比率(短期国債含むベース)は 2000 年 3 月末の約 5%から現在は約 14%まで約 3 倍に上昇している。先週、議論した主要株価指数の国際比較もその1 つであるが、為替市場が日本に対し「制御不能なインフレや通貨安に陥っている容疑」をふっかける有力な材料が揃いつつあることを念頭に中長期的な円相場見通しを検討したい。

> 金融市場部 チーフマーケット・エコノミスト 唐鎌大輔(TEL:03-3242-7065) daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

2024年7月17日 3

パックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ.html (Archives) http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ backnumber.html

| 2012年7月12日 | | co.jp/forex/econ.html (Archives) http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ backnumber.html |
|--|------------|---|
| 2004年3月1日 | 発行年月日 | 過去6か月のタイトル |
| 展集後年料に「最大国の大川の大川の長いの大力を一関国は関係があった後~) | | |
| 2004年7月10日 | | |
| 2004年7月1日 大大部間東京 明本の中央である。 | | |
| 2004年7月1日 一次の発音について一般を心を描き分けるペレー | | |
| 2004年7月3日 2004 | | |
| 2004年7月日 | | |
| 2004年8月2日 | | |
| 要求が 2014年8月3日 | | |
| 2024年8月26日 | | |
| 2024年6月12日 本部の東部音画 - 日本のリメトルは正成文との下記・ 2024年6月12日 本形的月間 出版を表現である。 | 2024年6月27日 | 家計金融資産の現状~外貨比率は最高値更新へ~ |
| 2024年5月1日 | 2024年6月25日 | 「隠れ円安」への正しい理解~実効円安を見る努力を~ |
| 2024年8月11日 | | |
| 2024年5月18日 | | |
| 2024年8月1日 日産金融資産業金金金銭名(マ・よが名称音音) 2024年8月1日 | | |
| 2024年8月14日 表型風入設置の対対発度プロー動向(2024年8月分) 2024年8月17日 2024年8月17日 日本の企業制度は大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大 | | |
| 2004年9月19日 | | |
| 2024年9月19日 | | 週末版 |
| 2024年9月10日 | | |
| 2024年9月19日 | | |
| 2004年8月18 | | |
| 2024年9月31日 | | |
| 2024年9月4日 | | |
| 2024年9月31日 | | |
| 2024年9月29日 世、「繋びる33年級未 世界最大の対外検育室田」の肩蓋管 2024年9月29日 | 2024年6月3日 | 強含む経済指標に囲まれるECB~ユーロ相場の考え方~ |
| 2024年5月28日 This time is difformul は利上げ予告か~内田路港へ | | |
| 2024年9月21日 | | |
| 2024年5月24日 | | |
| 2024年5月22日 「したして「ERATA」という不然のな異なった。 2024年5月21日 「したして、ERATA」という不然のな異なった。 2024年5月21日 「気した」では、「またい」という不然のな異なった。 2024年5月11日 は無数で、医療では、これという不然のな異なった。 2024年5月11日 は無数で、医療では、これという不然のな異なった。 2024年5月11日 は無数で、医療では、これという不然のな異なった。 2024年5月11日 は無数で、医療では、これという不然のな異なった。 2024年5月11日 は無数で、医療では、これという不然のな異なった。 2024年5月11日 は無数で、というでは、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本 | | |
| 2024年4月32日 ユー回服がの近く「高人以上り不断合な資素~ 2024年4月17日 東原版「金属などに800「次の一手」〜1039年179日 連邦版「金属などの一手」〜1039年179日 連邦版「金属などの一手」〜1039年179日 連邦版「金属などのころプライン・2039年179日 連邦版「金属などのころプライン・2039年179日 連邦版「金属などのころプライン・2039年179日 連邦版「金属などのころプライン・2039年179日 連邦版「金属などのころプライン・2039年179日 連邦版」と設定する「金属などのころでは一角国になる日気の政策環境へ) 2024年5月19日 連邦版 「金属な業」と設する「金属な業」と認する「金属などのころでは一角のことでは、1039年179日 連邦版「金属な業」と認する「金属などのころでは、1039年179日 連邦版 「金属な業」と認する「金属な業」と認する「金属などのころでは、1039年179日 連邦版 「金属な業」と認する「金属などのころでは、1039年179日 連邦版 「全属な業」と認する「金属な業」と認って、1039年179日 連邦版 「全属な業」と思いて、1039年179日 連邦版 「本のまり」を表して、1039年179日 「本のまり」を表していまります。またり、1039年179日 「本のまり」を表していまります。またり、1039年179日 「本のまり」を表していまりまります。またり、1039年179日 「本のまり」を表していまりまります。またり、1039年179日 「本のまり」を表していまりまります。またり、1039年179日 「本のまり」を表していまりまります。またり、1039年179日 「本のまり」を表していまりまります。またり、1039年179日 「本のまり」を表していまりまります。またり、1039年179日 「本のまり」を表していまりまります。またり、1039年179日 「本のまり」を表していまりまります。またり、1039年179日 「本のまり」を表していまりまります。またり、1039年179日 「本のまり」を表していまります。またり、1039年179日 「本のまり」を表していまりままりま | | |
| 2024年5月20日 短前夏大江5C800『次の一手」~C65世帯インウビュー~ 2024年5月16日 表末版 虚立なるスクグフレーンよの移植・南国国になる日間の政策環境~) 本外個人投資家の対外資金フロー動向(2024年4月分) 円安即止の処方量・回動性に持続他のレードナフ~ 2024年5月16日 表末版 2024年5月17日 円を即止の必方量・回動性の対策を持つといて、「5かの影響」に応るべき~) 2024年5月17日 月安則止の必方量・回動性の対策を持つといて、「5かの影響」に応るべき~) 2024年5月17日 月安則止の必方量・回動性の対策を持つといて、「5かの影響」に応るべき~) 2024年5月26日 表末版 2024年5月27日 表末版 2024年5月27日 表末版 2024年5月27日 表末版 2024年5月27日 表末版 2024年4月28日 表末低いていり次数日におくて、「5かの影響」に応るべき~) 2024年4月28日 表末版 2024年4月21日 表末版 2024年4月21日 表末版 2024年4月21日 表末版 2024年4月21日 表末版 2024年4月21日 表末版 2024年4月11日 表末版 2024年4月11日 表末版 2024年4月11日 表末版 2024年4月11日 表末版 2024年4月11日 表表を対で、またがい参加サーマに~ 2024年4月11日 表表を表のの制御分野とへ 2024年4月11日 表表を表のの関係が関係を関係を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を | | |
| 2024年5月11日 世界版(原文をスクグフレーションの移稿)・病風になら目類の政策環境〜 2024年5月13日 大野風(原変変の対外費金・国効性と特殊性のレードオフ〜 当実験では今日後で、 | | |
| 2024年5月10日 本邦極人投資家の対対資金フロー動向(2024年4月分) | | |
| 2024年5月14日 | | |
| 2024年5月10日 2月 2024年5月10日 2月 2024年5月10日 2月 2024年5月10日 2月 2024年5月10日 2月 2024年5月19日 2024年5月19日 2024年5月19日 2024年5月19日 2024年5月19日 2024年5月19日 2024年5月21日 20 | 2024年3月10日 | |
| 2024年5月13日 1 | 2024年5月14日 | |
| 2024年5月1日 | | |
| 2024年5月2日 国東版 (レバト) 遠根について、596の原族」に対るでき〜 2024年5月2日 国来版 (レバト) 遠根について、596の原族」に対るでき〜 2024年4月26日 国来版 (レバト) 遠根について、596の原族」に対るでき〜 2024年4月26日 国来版 (レバト) 遠根について、596の原族」に対るでき〜 2024年4月26日 国来版 (ロジャンアの) | 2024年5月10日 | 週末版 |
| 2024年5月2日 周末版(U、外上級性)について「596の機管」上物るべき〜) 2024年4月30日 日銀が回避した為替との戦い、今後のリスク 2024年4月35日 2024年4月25日 2024年4月26日 2024年4月27日 2024年4月27日 2024年4月27日 2024年4月27日 2024年4月27日 2024年4月27日 2024年4月27日 2024年3月27日 2024年3月27日 2024年3月27日 2024年3月28日 | | |
| 2024年4月2日 | | |
| 1 回線が回避した会替との戦い、今後のリスク 1 回線が回避した会替との戦い、今後のリスク 1 回線が回避した会替との戦い、今後のリスク 1 回線が回避した会替との戦い、今後のリスク 1 回線が回避した会替との戦い、今後のリスク 1 回線が回避した会替との戦い、今後のリスク 1 回線が回避した場合 1 回線が回避した場合 1 回線が回避 1 回線が回避した場合 1 回線が回避した。 1 回線が回避した場合 1 回線が回避したる 1 回 | | |
| 2024年4月28日 ランブ氏と為替~結局。何も考えていない?~ 2024年4月28日 世界経済の下方ントの背景にあるもの~MF分析~ 2024年4月18日 世界経済の下方シトの背景にあるもの~MF分析~ 2024年4月18日 湖末版 2024年4月18日 湖末版 2024年4月18日 湖本版 2024年4月18日 湖本 2024年4月18日 温泰のンナリオは米利上げ再開・中東リスクと円安 2024年4月18日 3世紀 2024年4月18日 2024年3月21日 円安・門高双方のリスクになる連続利上げ 2024年3月21日 円安・門高双方のリスクになる連続利上げ 2024年3月21日 日本記録 2024年3月21日 2024年3月18日 2024年3月19日 2024年3月3日 10293年3日3日3日3日3日3日3日3日3日3日3日3日3日3日3日3日3日3日3 | | |
| 2024年4月32日 世界経済の下方シアトの背景にあるもの一MF/分析~ 2024年4月19日 週末版 2024年4月19日 の金属正の国際管理に提は設せず~G202ドル高~ 2024年4月17日 前途多曜な貿易収支~待たれる電温構成の変化~ 2024年4月17日 前途多曜な貿易収支~待たれる電温構成の変化~ 2024年4月16日 最悪のシナリプは米利上げ再開~中東リスクと円安 2024年4月17日 (10年 大野電のビペー・大野電視支へ展帯収支の展帯である)と一 2024年4月17日 (10年 大野電のビペー・大野電視支へ展帯収支へ展帯である)と一 2024年4月17日 (10年 大野電のビペー・大野電視支へ展帯で表帯が上げ上に設定路線へ~) (下にほこ道」が再態の入口」が一米3月DFで受けて~) 2024年4月1日 (2024年4月1日 (2024年4月1日) 通志版(C10政策理事会を受けて~の下り用下げには民族路線へ~) (下にほこ道」が再態の入口」が一米3月DFで受けて~ 2024年4月9日 (2024年4月9日) 対内直投のキーワードは「資本はアジア、業種は金融・保険素」へ 2024年4月9日 (2024年4月9日) 大野電機構成置の近況について(2023年12月末時点) 2024年4月8日 (2024年4月1日) 大野電機構成置の近況について(2023年12月末時点) 2024年4月1日 (2024年4月1日) アジタル海岸は日本だけの問題なのか? 2024年4月1日 アジタル海に日本だけの問題なのか? 2024年3月2日 (2024年3月2日) 日本の水電の子の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の | | |
| 2024年4月18日 大田 | 2024年4月25日 | |
| 2024年4月19日 | | |
| 2024年4月18日 | | |
| 2024年4月15日 競変教性質易収支へ特たれる電源構成の変化〜 2024年4月15日 放然赤字圏のCFペース経常収支〜原油価格騰勢の足音〜 2024年4月15日 依然赤字圏のCFペース経常収支〜原油価格騰勢の足音〜 2024年4月15日 依然赤字圏のCFペース経常収支〜原油価格騰勢の足音〜 2024年4月16日 法庭 (CRB 政策理事金を受けて〜 6月別下げほほぼ底底路線へ〜) 「でこぼこ道」が1再修の入口」か〜米3月CPでを受けて〜 2024年4月10日 改五最高ペースだって、家計の円売り」へ口を終えて〜 2024年4月10日 改五最高ペースだって、家計の円売り」へ口を終えて〜 2024年4月1日 投変だった「東計の円本リ」へ口を終えて〜 2024年4月1日 投変だった「財出場〜第1四半期振り返り〜 2024年4月1日 投変だった「財出場〜第1四半期振り返り〜 2024年4月1日 プシクル衛間目の出版について(2023年12月末時点) 2024年4月1日 グリルボードに向けて第一関門突破 2024年4月2日 大ジクル赤空日日本だけの問題なのか? 2024年3月2日 アジクル赤空日もたけの問題なのか? 2024年3月21日 2024年4月1日 アジクル赤空日もたけの問題なのか? 2024年3月21日 2024年3月21日 23年末資金循環統計を受けて〜体が発送が上げ 2024年3月21日 24年第2月2日 24年第2月2日 14年第2月2日 2024年3月1日 2024年3月1日 大の香の屋の上にかり長した円安〜日盤決定を受けて〜 1224年3月1日 大の香の屋の上にかり長したのか?〜記される個人投資家の芯〜) 2024年3月1日 表近の国際収支の状況について〜CFでは初月赤字〜 2024年3月1日 表の国際収支の状況について〜CFでは初月赤字〜 2024年3月1日 表の国際収支の状況について〜CFでは初月赤字〜 2024年3月1日 表の日高以内なりに自動の連絡サ上げ 2024年3月1日 2024年3月1日 出版「247ス条利解除と口相場の関係性〜ドル/円相場、数少ない押し目の考え方〜) 2024年3月1日 出来の作曲指数から見えるもの〜中進画の容録〜 2024年3月1日 出来の作曲指数から見えるもの〜中進画の容録〜 2024年3月1日 出来の作曲指数から見えるもの〜中進画の容録〜 2024年2月2日 1月質易収支を受けて〜24年4月売り倫をか〜 2024年2月1日 1月質易収支を受けて〜24年4月売り帰金数で14年2月1日 日発口P2まを受けて〜24年4月売り帰金数で14年2月1日 1月質易収支を受けて〜24年4月売り帰金数で14年2月1日 1月質易収支を受けて〜24年4月売り帰金数で14年2月1日 1月質易収支を受けて〜24年4月売り帰金数で14年2月1日 1月間見の呼を受けて〜24年4月売り帰金数で14年2月1日 1月間見のP2を使りを持ちまたが、2024年2月1日 1月間見のP2を使りを持ちまたが、2024年2月1日 1月間見のP2を使りを持ちまたが、2024年2月1日 1月間見のP2を使りを持ちまたが、2024年2月1日 1月間見のP2を使りを持ちまたが、2024年2月1日 1月間のP2を使りを持ちまたが、2024年3月日 1月間のア24年2月1日 1月間のア24年2月2日 1月間のア24 | | |
| 2024年4月16日 最悪のシナリオは米利上げ再開〜中東リスクと円安 2024年4月17日 本邦個人投資家の対外負金フロー動向12024年3月分) | | |
| 2024年4月15日 本務個人投資家の分外を金つコー動向(2024年4月17日 | | = - · · · · · · · · · · · · · · · · · · |
| 選末版(ECB政策理事会を受けて~6月利下げはほぼ既定路線へ~) 2024年4月10日 | | |
| 2024年4月10日 過去最高ペースだった「家計の円売り」へ01を終えて〜 2024年4月9日 対内直投のキーワードは「資本はアジア、実種は金融・保険業」へ 2024年4月8日 独歩安だった円相場・第1四半期振り返り〜 2024年4月8日 独歩安だった円相場・第1四半期振り返り〜 2024年4月8日 水頂準備根砂道質の近見について(2023年12月末時点) 2024年4月3日 水頂準備根砂道質の近見について(2023年12月末時点) 2024年4月3日 水頂準備根砂道質の近見について(2023年12月末時点) 2024年4月3日 デジタル赤字は日本だけの問題なのか? 2024年3月29日 デジタル赤字は日本だけの問題なのか? 2024年3月27日 一安・Pr高双方のリスクになる連続利上げ 2024年3月27日 7安・Pr高双方のリスクになる連続利上げ 2024年3月27日 23年末資金循環統計を受けて〜水がなるドル/円相場の「押し目」) 2024年3月21日 (債券市場への優しさ」が助長した円安〜日銀決定を受けて〜 2024年3月21日 「「韓・元・事・実・元・リニ・なりそうな Pr刊 2024年3月18日 「「韓・元・事・実・元・リニ・なりそうな Pr刊 2024年3月18日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2024年2月分) 2024年3月19日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2024年2月分) 2024年3月1日 最近の国際収支の状況について〜CFではおり赤字〜 2024年3月1日 最近の国際収支の状況について〜CFではおり赤字〜 2024年3月1日 世界の株価指数から見えるもの〜中進国の容疑〜 2024年3月1日 世界の株価指数から見えるもの〜中進国の容疑〜 2024年3月1日 世界の株価指数から見えるもの〜中進国の容疑〜 2024年3月1日 出来版(CFの政策理事会を終えて〜6月まで材料なし〜) 2024年3月1日 出来版(CFの政策理事金を終えて〜6月まで材料なし〜) 2024年2月21日 ユーロ圏の現状と展望・金利と宗給から〜 2024年2月21日 ユーロ圏の現状と展望・金利と宗給から〜 2024年2月21日 日東の邦権に見の理由〜ブンノの帰結〜 2024年2月21日 日東の野本の本質・公路を開め、 2024年2月21日 日東の野本の本質・公路を開め、 2024年2月21日 日東の野本の本質・公路を関け、 1月度の理由〜ブンノの帰結〜 2024年2月21日 日東の野本の本質・公路を関け、 1月度の理を対し、 1月度の理由〜ブンノの帰結〜 2024年2月21日 日東の野本の本質・公路を関け、 1月度の理由〜ブンノの帰結〜 2024年2月21日 日東の野本の本質を関す、 1月度の理由〜ブンノの帰結〜 2024年2月21日 日東の野本の本質を関す、 1月度の理由へデンノの帰述を対し、 1月度の理由へデンノの帰述を対し、 1月度の理由へデンノの帰結〜 1月度の理由へデンノの帰述を対して、 1月度の理由へデンノの帰述を対し、 1月度の理由、 1月度 | 2024年4月12日 | |
| 2024年4月10日 過去最高ペースだった「蒙計の円売リ」~01を終えて~ 2024年4月8日 対か変だった円相場〜第1四半期振り返り~ 2024年4月8日 独歩変だった円相場〜第1四半期振り返り~ 2024年4月4日 E0Bは6月利ドげに向けて第一関門突破 2024年4月3日 外貨準備権成通貨の近況について(2023年12月末時点) 2024年4月3日 ゲジタル流国アイルランドの存在感をどう考えるか? 2024年4月1日 デジタル流国と日本だけの問題なのか? 2024年4月1日 アジタル赤軍は日本だけの問題なのか? 2024年3月29日 週末版 2024年3月27日 辺末版 2024年3月27日 1世で売って、事実でも売り」になりそうな円相場 2024年3月27日 「韓で売って、事実でも売り」になりそうな円相場 2024年3月15日 2024年3月15日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2024年2月分) 2024年3月17日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2024年2月分) 2024年3月18日 退末版(定日の政境・経入・にして・対けの売り、2024年3月18日 2024年3月18日 退末版(正日の政境・経入・にして・アレフルののでは、日本のでは、日 | 2024年4日44日 | |
| 2024年4月9日 対内直投のキーワードは「資本はアジア、業種は金融・保険業」へ 2024年4月8日 独歩安だった円相場~第1四半期振り返り~ 2024年4月3日 独表版 2024年4月3日 との目は6月利下げに向けて第一関門突破 2024年4月3日 子ジタル強国アイルランドの存在感をどう考えるか? 2024年4月1日 デジタル赤字は日本だけの問題なのか? 2024年3月29日 元を 2024年3月29日 元を 2024年3月29日 元を 2024年3月21日 円安・円高双方のリスクになる連続利上げ 2024年3月22日 温末版 (FOMのを受けて〜少なくなるドル/円相場の「押し目」) 位義市場への優しま)が助長した円安~日銀決定受けて〜 2024年3月21日 債券市場への優しま)が助長した円安~日銀決定受けて〜 2024年3月18日 「電や売って、事実でも売り」によりそうな円和増 2024年3月18日 通本版 (「家計の円売り」は3月も続くのか? 〜 試される個人投資家の芯〜) 2024年3月19日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2024年2月分) 2024年3月19日 最大の円高リスウィー関列の買しげムード」としらリスク〜 2024年3月19日 最近の国際収支の状況について〜 CFでは初月赤字〜 2024年3月19日 最大の円高リスウは目底の連続利上げ 2024年3月19日 最大の円高リスウは目底の連続利上げ 2024年3月1日 最大の円高リスウは目底の連続利上げ 2024年3月1日 世界の株価指数から見えるもの〜中進国の容疑〜 2024年3月1日 世界の株価指数から見えるもの〜中進国の容疑〜 2024年3月1日 出来版 (CFの財産理事会を終えて〜6月まで材料なし〜) 2024年3月1日 出来版(CFの大変は2月6日 世界の株価指数から見よのを経行 2024年2月21日 コーロ圏の資金・物価情勢〜妥結賞金は年内496台か〜 2024年2月21日 コーロ圏の環たと円指場の関係性〜ドル/円相場、数少ない押し目の考え方〜) 2024年2月21日 日東の東本日と中省は上門売り優勢変わらず〜 2024年2月21日 日東の東なを受けて〜24年も円売り優勢変わらず〜 2024年2月21日 国来版 1月貿の皮を受けて〜24年も円売り優勢変わらず〜 2024年2月21日 国来版 2024年2月21日 国来版 2024年2月21日 国来版 2024年2月21日 国来版 2024年2月21日 国来版 本料個人投資家の対外資金フロー動向(2024年1月分) 本料個人投資家の対外資金フロー動向(2024年1月分) 本料の人投資家の対外資金フロー動向(2024年1月分) 本料の人投資家の対外資金フロー動向(2024年1月分) 本料の人投資家の対外資金フロー動向(2024年1月分) 本邦の人投資家の対外資金フロー動向(2024年1月分) 本邦の人投資家の対外資金フロー動向(2024年1月分) 本邦の人投資家の対外資金フロー動向(2024年1月分) 本邦の人投資家の対外資金フロー動向(2024年1月分) 本邦の人投資家の対外資金フロー動向(2024年1月分) 2024年2月1日 本科の人会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会 | | |
| 2024年4月5日 独歩安だった円相場~第1四半期振り返り~ 2024年4月6日 選末版 2024年4月3日 大了東端構成通貨の近況について(2023年12月末時点) 2024年4月2日 デジタル強国アイルランドの存在膨をどう考えるか? 2024年4月1日 デジタル未学は日本だけの問題なのか? 2024年3月29日 選末版 2024年3月27日 円安・円高双方のリスクになる連続利上げ 2024年3月27日 円安・円高双方のリスクになる連続利上げ 2024年3月27日 週末版(FOMCを受けて~地ななるドル/円相場の「押し目」) 2024年3月21日 遺末版(FOMCを受けて~少なななドル/円相場の「押し目」) 2024年3月18日 1韓で売って、事実でも売り」になりそうない日報決定を受けて~ 2024年3月18日 1韓で売って、事実でも売り」になりそうない日報集 2024年3月18日 2024年2月18日 2024年2月28日 2024年2月2 | | |
| 2024年4月5日 週末版 | | |
| 2024年4月3日 外貨準備構成通貨の近況について(2023年12月末時点) 2024年4月2日 デジタル強国アイルランドの存在態をとう考えるか? 2024年4月1日 デジタルホ字は日本だけの問題なのか? 2024年3月29日 週末版 2024年3月27日 円安・円高双方のリスクになる連続利上げ 2024年3月27日 図表療護機能計を受けて~様・外貨共に過去最高目前~ 2024年3月21日 (債券市場への優しさ」が助長した円安~日銀決定を受けて~ 2024年3月12日 「債券市場への優しさ」が助長した円安~日銀決定を受けて~ 2024年3月15日 週末版(「家計の円売り」は3月も続くのか?~試される個人投資家の芯~) 2024年3月16日 週末版(「家計の円売り」は3月も続くのか?~試される個人投資家の芯~) 2024年3月11日 最近の国際収支の状況について~CFでは初月赤字~ 2024年3月11日 最大の円高リスクに「異例の賃上げムード」というリスク~ 2024年3月11日 最大の円高リスクは日銀の連続利上げ 2024年3月11日 最大の円高リスクは日銀の連続利上げ 2024年3月11日 最大の円高りスクは日銀の連続利上げ 2024年3月11日 最大の円高りスクは日銀の連続利上げ 2024年3月16日 世界の株価指数から見えるもの~中進国の容疑~ 2024年3月5日 コーロ圏の賃金・物価情勢~妥結賃金は年内4%台か~ 2024年3月6日 世界の株価指数から見えるもの~中進国の容疑~ 2024年3月1日 副末版(マイナス金利解除と円相場の関係性~ドル/円相場、数少ない押し目の考え方~) 2024年2月27日 ユーロ圏の賃金・物価情勢~妥結賃金は年内4%台か~ 2024年2月27日 コーロの買金・物価情勢・妥結賃金は年内4%台か~ 2024年2月21日 目後日の対状と展望・金利と締拾から~ 2024年2月21日 日経平均株価上昇の理由~インフレの帰結~ 2024年2月21日 日後アり禁転の本質~急替要因だから良いのか?~ 2024年2月21日 日独GDP逆転の本質~急替要因だから良いのか?~ 2024年2月16日 週末版 2024年2月16日 週末版 | 2024年4月5日 | 週末版 |
| 2024年4月2日 デジタル強国アイルランドの存在感をどう考えるか? 2024年3月29日 週末版 2024年3月29日 週末版 2024年3月27日 円安・円高双方のリスクになる連続利上げ 2024年3月25日 23年末資金循環統計を受けて~株・外貨共に過去最高目前~ 2024年3月22日 週末版(FOMCを受けて〜少なくなるドル/円相場の「押し目」) 「債券市場への優しさ)が助長した円安~日鏡決定を受けて〜 2024年3月18日 「噂で売って、事実でも売り」になりそうな円相場 2024年3月18日 「噂で売って、事実でも売り」になりそうな円相場 2024年3月15日 週末版(「家計の円売り」は3月も続くのか?〜試される個人投資家の芯〜) 2024年3月15日 週末版(「家計の円売り」は3月も続くのか?〜試される個人投資家の芯〜) 2024年3月13日 春間と円高リスク〜「異例の賃上げムード」というリスク〜 2024年3月12日 最近の国際収支の状況について~CFでは初月赤字〜 2024年3月12日 最大の円高リスクは日銀の連続利上げ 2024年3月1日 最大の円高リスクは日銀の連続利上げ 2024年3月5日 週末版(ECB政策理事会を終えて〜6月まで材料なし〜) 2024年3月6日 世界の株価指数から見えるもの〜中進国の容疑〜 2024年3月5日 ユーロ圏の賃金・物価情勢〜妥結賃金は年内4%合か〜 2024年3月5日 ユーロ圏の賃金・物価情勢〜妥結賃金は年内4%合か〜 2024年2月21日 週末版(アイナ入金利解除と円相場の関係性〜ドル/円相場、数少ない押し目の考え方〜) 2024年2月26日 日経平均株価上昇の理由〜インフレの帰結〜 2024年2月26日 日経平均株価上昇の理由〜インフレの帰結〜 2024年2月21日 1月貿易収支を受けて〜24年も円売り優勢変わらず〜 2024年2月21日 1月貿易収支を受けて〜24年も円売り優勢変わらず〜 2024年2月20日 日独GDP逆転の本質〜為替要因だから良いのか?〜 2024年2月16日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2024年1月分) 本邦10〜12月期GDPを受けて〜総崩れ〜 | | |
| 2024年4月1日 | | |
| 2024年3月29日 週末版 2024年3月27日 円安・円高双方のリスクになる連続利上げ 2024年3月25日 23年末資金循環統計を受けて~株・外貨共に過去最高目前~ 2024年3月25日 週末版 (FOMCを受けて~少なくなるドル/円相場の「押し目」) 2024年3月18日 「債券市場への優しさ」が助長した円安~日銀決定を受けて~ 2024年3月18日 「噂で売って、事実でも売り」になりそうな円相場 2024年3月18日 「噂で売って、事実でも売り」になりそうな円相場 2024年3月15日 過末版 (「家計の円売り」は3月も続くのか?~試される個人投資家の芯~) 2024年3月15日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2024年2月分) 2024年3月11日 最近の国際収支へ「異例の賃上げムード」というリスク~ 2024年3月11日 最大の円高リスク・「異例の賃上げムード」というリスク~ 2024年3月11日 最大の円高リスクは日銀の連続利上げ 2024年3月11日 最大の円高リスクは日銀の連続利上げ 2024年3月16日 世界の株価指数から見えるもの~中進国の容疑~ 2024年3月5日 ユーロ圏の賃金・物価情勢~妥結賃金は年内496台か~ 2024年3月5日 週末版 (マイナス金利解除と円相場の関係性~ドル/円相場、数少ない押し目の考え方~) 2024年2月21日 コーロ圏の現状と展望~金利と需給から~ 2024年2月27日 ユーロ圏の現状と展望~金利と需給から~ 2024年2月27日 ユーロ圏の現状と展望~金利と需給から~ 2024年2月27日 コーロ圏の現状と展望~金利と需給から~ 2024年2月27日 コーロ圏の現状と展望~金利と需給から~ 2024年2月27日 コーロ圏の現状と展望~金利を開たでして、2024年2月21日 日経のP逆転の本質~為替要因だから良いのか?~ 2024年2月21日 日独GDP逆転の本質~為替要因だから良いのか?~ 2024年2月16日 週末版 2024年2月16日 週末版 | | |
| 2024年3月27日 円安・円高双方のリスクになる連続利上げ 2024年3月25日 23年末資金循環統計を受けて~株・外資共に過去最高目前~ 2024年3月21日 週末版(FOMCを受けて~少なくなるドル/円相場の「押し目」) 2024年3月21日 「債券市場への優しさ」が助長した円安~日銀決定を受けて~ 2024年3月18日 「噂で売って、事実でも売り」になりそうな円相場 2024年3月15日 週末版(「家計の円売り」は3月も続くのか?~試される個人投資家の芯~) 2024年3月15日 週末版(「家計の円売り」は3月も続くのか?~試される個人投資家の芯~) 2024年3月13日 春闘と円高リスク~「異例の賃上げムード」というリスク~ 2024年3月13日 最近の国際収支の状況について~CFでは初月赤字~ 2024年3月19日 最大の円高リスクは日銀の連続利上げ 2024年3月8日 週末版(CGB政策理事会を終えて~6月まで材料なし~) 2024年3月6日 世界の株価指数から見えるもの~中進国の容疑~ 2024年3月6日 ユーロ圏の賃金・物価情勢~妥結賃金は年内4%合か~ 2024年3月1日 週末版(マイナス金利解除と円相場の関係性~ドル/円相場、数少ない押し目の考え方~) 2024年2月26日 日経平均株価上昇の理由~インフレの帰結~ 2024年2月26日 日経平均株価上昇の理由~インフレの帰結~ 2024年2月26日 日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日 | | |
| 2024年3月22日 | | |
| 2024年3月18日 「債券市場への優しさ」が助長した円安~日銀決定を受けて~ 2024年3月18日 「噂で売って、事実でも売り」になりそうな円相場 2024年3月15日 週末版(「家計の円売り」は3月も続くのか?~試される個人投資家の芯~) 2024年3月14日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2024年2月分) 2024年3月13日 春闘と円高リスク~「異例の賃上げムード」というリスク~ 2024年3月12日 最近の国際収支の状況について~CFでは初月赤字~ 2024年3月11日 最大の円高リスクは日銀の連続利上げ 2024年3月8日 週末版(ECB政策理事会を終えて~6月まで材料なし~) 2024年3月6日 世界の株価指数から見えるもの~中進国の容疑~ 2024年3月5日 ユーロ圏の賃金・物価情勢~妥結賃金は年内4%台か~ 2024年3月1日 週末版(マイナス金利解除と円相場の関係性~ドル/円相場、数少ない押し目の考え方~) 2024年2月27日 ユーロ圏の現状と展望~金利と需給から~ 2024年2月26日 日経平均株価上昇の理由~インフレの帰結~ 2024年2月26日 日経平均株価上昇の理由~インフレの帰結~ 2024年2月61日 1月貿易収支を受けて~24年も円売り優勢変わらず~ 2024年2月1日 1月貿易収支を受けて~総前れ~ 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2024年1月分) 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2024年1月分) 本邦10~12月期GDPを受けて~総前れ~ | | |
| 2024年3月18日 | | |
| 2024年3月15日 週末版(「家計の円売り」は3月も続くのか?~試される個人投資家の芯~) 2024年3月14日 | | |
| 2024年3月14日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2024年2月分) 2024年3月12日 春闘と円高リスク〜「異例の賃上げムード」というリスク〜 2024年3月12日 最近の国際収支の状況について〜CFでは初月赤字〜 2024年3月1日 最大の円高リスクは日銀の連続利上げ 2024年3月8日 週末版(ECB政策理事会を終えて〜6月まで材料なし〜) 2024年3月6日 世界の株価指数から見えるもの〜中進国の容疑〜 2024年3月5日 ユーロ圏の賃金・物価情勢〜妥結賃金は年内4%台か〜 2024年3月1日 週末版(マイナス金利解除と円相場の関係性〜ドル/円相場、数少ない押し目の考え方〜) 2024年2月27日 ユーロ圏の現状と展望〜金利と需給から〜 2024年2月27日 コー圏の可現状と展望〜金利と需給から〜 2024年2月26日 日経平均株価上昇の理由〜インフレの帰結〜 2024年2月21日 1月貿易収支を受けて〜24年も円売り優勢変わらず〜 2024年2月21日 日強GDP逆転の本質〜為替要因だから良いのか?〜 2024年2月16日 週末版 2024年2月16日 週末版 | | |
| 2024年3月13日 春日と円高リスク~「異例の賃上げムード」というリスク~ 2024年3月12日 最近の国際収支の状況について~CFでは初月赤字~ 2024年3月1日 最大の円高リスクは日銀の連続利上げ 2024年3月8日 週末版(ECB政策理事会を終えて~6月まで材料なし~) 2024年3月6日 世界の株価指数から見えるもの~中進国の容疑~ 2024年3月5日 ユーロ圏の賃金・物価情勢~妥結賃金は年内4%台か~ 2024年3月1日 週末版(マイナス金利解除と円相場の関係性~ドル/円相場、数少ない押し目の考え方~) 2024年2月27日 ユーロ圏の現状と展望~金利と需給から~ 2024年2月26日 日経平均株価上昇の理由~インフレの帰結~ 2024年2月26日 日経平均株価上昇の理由~インフレの帰結~ 2024年2月21日 1月貿易収支を受けて~24年も円売り優勢変わらず~ 2024年2月20日 日独国の連転の本質~為替要因だから良いのか?~ 2024年2月15日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2024年1月分) 本邦10~12月期GDPを受けて~総崩れ~ | | |
| 2024年3月12日 最近の国際収支の状況について~CFでは初月赤字~ 2024年3月11日 最大の円高リスクは日銀の連続利上げ 最大の円高リスクは日銀の連続利上げ 過末版(ECB政策理事会を終えて~6月まで材料なし~) 2024年3月6日 世界の株価指数から見えるもの~中進国の容疑~ 2024年3月5日 ユーロ圏の賃金・物価情勢~妥結賃金は年内4%台か~ 2024年3月1日 週末版(マイナス金利解除と円相場の関係性~ドル/円相場、数少ない押し目の考え方~) 2024年2月27日 ユーロ圏の現状と展望~盈利と需給から~ 2024年2月27日 日経平均株価上昇の理由~インフレの帰結~ 2024年2月28日 回来版版 2024年2月28日 1月貿易収支を受けて~24年も円売り優勢変わらず~ 2024年2月20日 日独GDP逆転の本質~為替要因だから良いのか?~ 2024年2月16日 週末版 2024年2月16日 週末版 2024年2月16日 週末版 2024年2月16日 3年末版 3年末の本質~為替要因だから良いのか?~ 2024年2月15日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2024年1月分) 本邦10~12月期GDPを受けて~総崩れ~ | | |
| 2024年3月8日 | 2024年3月12日 | 最近の国際収支の状況について~CFでは初月赤字~ |
| 2024年3月6日 世界の株価指数から見えるもの~中進国の容疑~ 2024年3月5日 ユーロ圏の賃金・物価情勢~妥結賃金は年内4%台か~ 2024年3月1日 週末版(マイナス金利解除と円相場の関係性~ドル/円相場、数少ない押し目の考え方~) 2024年2月27日 ユーロ圏の現状と展望~金利と需給から~ 2024年2月26日 日経平均株価上昇の理由~インフレの帰結~ 2024年2月21日 別す版 2024年2月21日 月貿易収支を受けて~24年も円売り優勢変わらず~ 2024年2月20日 日独GDP逆転の本質~為替要因だから良いのか?~ 2024年2月16日 週末版 2024年2月16日 週末版 2024年2月15日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2024年1月分) 本邦10~12月期GDPを受けて~総前れ~ | | |
| 2024年3月5日 | | |
| 2024年3月1日 | | |
| 2024年2月27日 ユーロ圏の現状と展望〜金利と需給から〜 2024年2月26日 日経平均株価上昇の理由〜インフレの帰結〜 2024年2月22日 週末版 2024年2月21日 1月貿易収支を受けて〜24年も円売り優勢変わらず〜 2024年2月20日 日独GDP逆転の本質〜為替要因だから良いのか?〜 2024年2月16日 週末版 2024年2月15日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2024年1月分) 本邦10〜12月期GDPを受けて〜総崩れ〜 | | |
| 2024年2月26日 日経平均株価上昇の理由~インフレの帰結~ 2024年2月21日 週末版 2024年2月21日 1月貿易収支を受けて~24年も円売り優勢変わらず~ 2024年2月20日 日独GDP逆転の本質~為替要因だから良いのか?~ 2024年2月16日 週末版 2024年2月15日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2024年1月分) 本邦10~12月期GDPを受けて~総崩れ~ | | |
| 2024年2月21日 1月貿易収支を受けて~24年も円売り優勢変わらず~ 2024年2月20日 日独GDP逆転の本質~為替要因だから良いのか?~ 2024年2月16日 週末版 2024年2月15日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2024年1月分) 本邦10~12月期GDPを受けて~総崩れ~ | 2024年2月26日 | |
| 2024年2月20日 日独GDP逆転の本質~為替要因だから良いのか?~ 2024年2月16日 週末版 2024年2月15日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2024年1月分) 本邦10~12月期GDPを受けて~総崩れ~ | | |
| 2024年2月16日 週末版 2024年2月15日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2024年1月分) 本邦10~12月期GDPを受けて~総崩れ~ | | |
| 2024年2月15日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2024年1月分) 本邦10~12月期GDPを受けて~総崩れ~ | | |
| 本邦10~12月期GDPを受けて~総崩れ~ | | |
| | | |
| | 2024年2月14日 | |